

情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 脳卒中急性期患者の患者搬送および、治療のための医師派遣に対する研究

[研究機関名] 聖隷三方原病院

[研究機関の長] 荻野和功

[研究責任者] 釧持博昭（脳神経外科・医師）

[研究の概要]

■ 目的・方法（研究期間も含む）

研究期間：実施承認後～2026年4月30日

目的：浜松医科大学医学部附属病院脳神経外科及び当院を含む共同研究機関脳神経外科では、静岡県西部地方を中心に、多くの脳卒中に苦しむ患者さんの治療を行っています。私たち脳神経外科医が、薬剤・顕微鏡・内視鏡・外視鏡・カテーテルなどを用いて治療を行っています。また、適した治療が行えるように病院を移動したり、専門技術を要した医師が移動したりすることで治療を行なっています。多くの患者さんの病気や悩みに立ち向かうために、最も適した治療を迅速に行い、どのような治療が良い結果につながるかを絶えず調査していかなくてはなりません。特に脳卒中は治療までの時間や治療方法が予後へ影響しやすいため、本研究の目的は脳卒中に苦しむ患者さんが適切な治療を適切なタイミングで受けていただくことで予後を改善させたいため、患者さんのカルテを分析して得られた結果に基づいて、治療開始を早める救急搬送体制の整備、救急医療の確保をはじめとした医療提供体制の整備を行うことです。医学上の貢献が考えられます。

方法：カルテ情報から収集できる情報のみを用いた観察研究です。

■ 対象となる患者さん

2016年5月から2026年4月30日までの期間に当院で脳卒中と診断され、通常診療により脳卒中急性期の治療を受けた患者さん

■ 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：

患者背景：性別、治療開始時年齢、身長、体重、疾患名、初診時NIHSS（神経学的重症度）、症状、経過、前治療歴、職業、既往歴、合併症、喫煙歴、飲酒歴、治療歴

救急搬送状況：発生場所、搬入経路、発症からの時間経過、救急処置・検査時間

入院時検査値：臨床検査、感染症情報、心電図

治療状況：治療開始日、治療内容、治療機器、治療薬剤、治療終了日、治療開始時mRS

(障害の重症度)、治療効果、治療終了時mRS

治療成績：退院時mRS、死亡日、死因、死亡場所、剖検の有無、最終生存確認日、再発日、再発部位、治療場所、紹介元等

■ 外部への試料・情報の提供

浜松医科大学へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。共同研究機関に提供される情報に関し、匿名化した状態で送付されるため、個人を特定できる情報は提供されません。当院が管理する試料・情報・作成した対応表については施錠された場所において適切に管理されます。

■ 研究組織

研究代表機関：浜松医科大学

研究代表者：浜松医科大学 脳神経外科学講座 根木宏明

共同研究機関・研究責任者：聖隷三方原病院・釧持博昭

焼津市立総合病院・松井秀介

磐田市立総合病院・天野慎士

聖隷浜松病院・稲永親憲

[問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先]

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院

釧持博昭、脳神経外科

電話 053-436-1251 FAX 053-438-2971